

第3回定例会

・町長所信表明②

町長 3期目 具体的方策

元気で活力ある佐呂間の実現へ
4つの目標と31項目の事業

- 1 若い世代が安心して住み続けられる町づくり
 - 1 特定不妊治療や妊婦健診支援
 - 2 乳児・未熟児家庭への訪問事業
 - 3 保育所受け入れ体制の充実と保育料負担軽減
 - 4 中学生までの医療費無料化の継続
- 2 魅力ある教育環境の整備
 - 5 新入学児童（少人数）教育支援
 - 6 特別支援員配置の充実
 - 7 施設の整備や高校への支援充実
- 3 地域高齢者の生活支援
 - 8 高齢者あんしんネットワーク体制の充実

- 9 高齢者福祉住宅の整備
- 10 ふれあいバス・ふれあいタクシー利用の充実と町外交通アクセスの利便性向上
- 11 高齢者保健福祉・介護保険事業計画・社会福祉協議会の「地域福祉実践計画」など各計画に基づく支援活動対策
- 12 クリニックさろま医療体制の充実
- 13 周辺自治体との連携を強化した広域医療の充実
- 14 健康づくり推進事業の拡充



町民の貴重な足となるふれあいバス

- 15 介護専門スタッフ支援事業の継続による人材確保
- 16 道管土地改良事業（基盤と簡易水道整備）の推進
- 17 農業・酪農の振興
- 18 新規就農者・担い手育成（「ターン・Uターン」）の支援策の充実
- 19 地場産品物を利用した特産品開発支援
- 20 「ふるさと納税制度」による特産物の販売促進
- 21 漁業関連施設の整備
- 22 ふるさと商品券の発行継続
- 23 住宅建設促進事業の継続
- 24 地域間・友好都市交流の推進
- 25 物産館「みのり」を拠点とした観光対策

- 26 第4期総合計画（後期）と地域創生総合戦略計画に掲げる人口減少・高齢化・子育て支援対策
- 27 地域医療・保健・介護・福祉対策
- 28 佐呂間町サポーターズ倶楽部会員の拡大
- 29 移住・定住など受け入れ体制の構築
- 30 公共施設の整備
- 31 災害・減災・安全安心対策
- 4 これからもずっと住み続けたいと思う

1期目の「土づくり」と種まき、2期目の「種が芽を出し、幹が育つ」と、着実な実行を図ってまいりました。そして、3期目は「飛躍」という花を咲かせる「ことが使命と考え、小さな声にも耳を傾け、町民の皆さんと向き合い、語り合い、多くの力を結集し、スピード感を持って「さら」に前に、そして信条の「有言実行」に向かって、努力してまいります。意であります。

第3回定例会

・町長所信表明①

町長所信表明 (要旨)

川根章夫町長から3期目に向けての所信表明が発せられました。要旨と共に、3期目の具体的方策を掲載します。

私は、この度の町長選挙におき、多くの町民の皆様をはじめ各方面から力強いご支援、心温まるご厚情をいただき、引き続き町政の重責を担わせていただくこととなり、2期8年間の経験と力を、新たな決意と信念を持って、責務を担っていく覚悟であります。

町長就任の8年間を振り返り、国政に目を向けると、政権または内閣の交替に伴い、政策方針が目まぐるしく変わり、国民生活や経済社会は様々な影響を受け、地方においては将来につながる一貫とした政策が立てにくい状況にありました。

現政権になり、円安・株高が急速に進み、国内経済も活気が見え始めましたが、東日本大震災により尊い人命、財産を奪ったばかりか、未曾有の被害をもたらすなど、今なお悲惨な爪痕を残しており、加えて、農業をはじめ食の安全、医療、保険、公共事業、生活や地域経済に大きく影響を及ぼすTPP交渉問題、集

团的自衛権の行使、安全保障法制問題、社会保障財源の確保に向けた消費税率10%への引き上げ、社会保障費削減などの国の財政健全化の動きなどの局面を迎えており、さらに、少子高齢化に対し、国は人口減少と地方の再生を図るための地方創生法を整備し、地方も対応すべく人口ビジョン、総合戦略の策定を図ったものであります。

この情勢の中、厳しくても明日を語るまちづくりをスローガンに、佐呂間の特性を活かし「町民が主役のまち・地域で支えあう協働のまち・健全な財政運営による自立した合併しないまち」の実現に向け、町政運営に全力を尽くしてまいりました。

- 1 町内全路線を網羅した「ふれあいバス・ふれあいタクシー」の整備導入
- 2 購買力増強を図る「プレミアムふるさと商品券発行」、「住宅の新築・増築助成制度の確立」
- 3 特別養護老人ホームとケアハウス増床
- 4 高齢者あんしんネットワーク体制の組織化
- 5 中学生までの医療費無料化
- 6 営農用水（簡易水道浜佐呂間地域）の整備
- 7 麦作施設及びTMRセンターへの助成
- 8 産業後継者対策「佐呂間の花嫁お見合い大作戦」、担い手育成策の充実
- 9 各小中学校校舎の耐震補強工事

- 1 信頼される医療提供体制改革に着手、町立診療所としての運営を決定した「クリニックさろま」の開業と診療開始、新施設落成の実現
- 2 一次産業及び商工業の政策的振興策を継続実行
- 3 農業基盤整備と営農用水（簡易水道佐呂間地域）の拡充
- 4 若い世代の結婚・出産・子育て支援を最重要政策とした「不妊治療支援対策」、「出産祝い金支給」、「保育料負担軽減助成」、結婚に関する支援の取り組み



昨年11月 新施設を落成したクリニックさろま